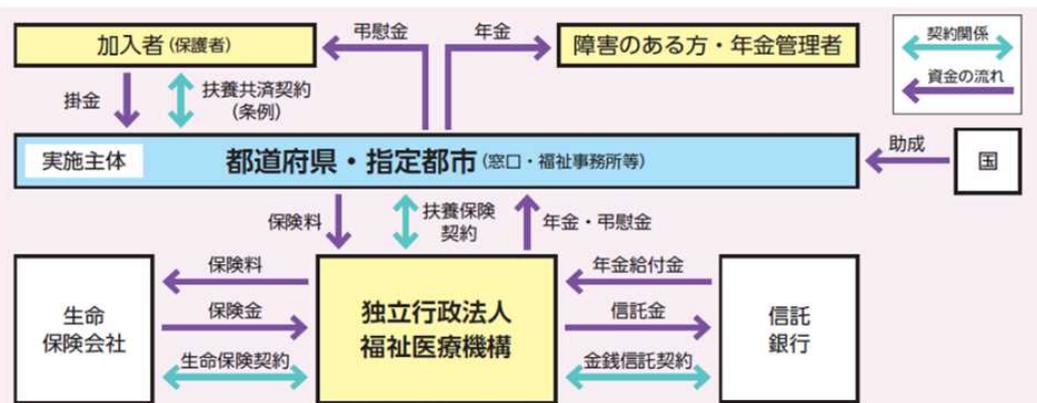


レビューシート

レビュー項目 (事業名)	心身障害者扶養共済の掛金納付方法の多様化 (心身障害者扶養共済制度)				部(局)	福祉部
					所管課	障害福祉課
					担当班	身体・知的障害福祉班
					連絡先	078-362-9497
開始年度	昭和45年	終了年度	—	関連計画等	—	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	兵庫県
事業目的	心身障害児者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者が予め一定額の掛金(年齢に応じて月額9,300円~23,300円)を納付することにより、保護者に万が一のことがあった際、その障害児者に終身年金(1口につき月額2万円)を支給することにより、生活の安定化を図る。					
事業概要	1 保護者が生存中に一定額の掛金を納付 2 保護者が死亡または重度障害になったとき、心身障害児者に終身年金を支給					
これまでの改善状況	・保険料(月額5,600円~14,500円 → 月額9,300円~23,300円)等の改定(平成20年度) ・申請書・届出書に係る押印の廃止(令和2年度)					
業務フロー						
事業に要するコスト			元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額
	事業費①		1,196,010千円	1,197,936千円	1,212,474千円	1,230,457千円
	経費内訳	報酬・賃金	1,611千円	1,620千円	1,948千円	1,941千円
		委託料				
		補助金・交付金	1,193,053千円	1,195,599千円	1,209,126千円	1,227,404千円
		貸付金				
		その他	1,346千円	717千円	1,400千円	1,112千円
	(財源内訳)	(国庫)	(213,311千円)	(210,345千円)	(210,440千円)	(210,440千円)
		(特定)	(755,834千円)	(764,525千円)	(776,181千円)	(793,942千円)
		(起債)				
		(一般財源)	(226,865千円)	(223,066千円)	(225,853千円)	(226,075千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		1,183,020千円	1,193,558千円	1,212,474千円	1,230,457千円
	執行率((①/②)×100)		101.1%	100.4%	100.0%	100.0%
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人
			3,361千円	3,320千円	3,495千円	3,448千円
職員給与費	a	2,909千円	2,876千円	3,043千円	3,004千円	
賞与引当金繰入額	b	233千円	232千円	233千円	232千円	
退職手当引当金繰入額	c	219千円	212千円	219千円	212千円	
総コスト(①+③)		1,199,371千円	1,201,256千円	1,215,969千円	1,233,905千円	

レビューシート

	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標(アウトカム指標①) 利便向上による制度加入者数の増 (減免者含む全加入者数) <障害者の生活の安定>	目標				5,043	5,100
		実績(見込)	5,192	5,152	5,043	(5,043)	令和8年度
		(単位当たりコスト)	(231千円)	(233千円)	(241千円)	(245千円)	
		達成率(見込)	--	--	--	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
指標	活動指標(アウトプット指標①) 公金取扱金融機関口座振替等利用率 <加入者の利便向上>	目標					50%程度
		実績(見込)					令和8年度
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
目標	終期設定	有 ( ) ・ (無)					
	改善基準	-					
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		障害児者の保護者の意思により加入する 共済制度で、機構が引き受ける全国一律 の枠組みとなっている。この中で、加入者 (保護者)の利便向上を図る余地がある。		機構・市町と連携しながら適切に事務を進め ており、一定の事業目的は達成されていると 評価している。一方、さらなる加入者(保護 者)の利便向上と事務改善の取組も必要と認 識している。		
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		運営事務について、納付書の送付(年3 回)等従来どおりの手作業に頼る部分が 残っており、事務改善の余地がある。				
課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ( 加入者(保護者)の高齢化も踏まえた利便向上及び事務改善により、制度の安定運用を図る。 )							
外部委員会意見							
改善結果							

レビューシート

レビュー項目 (事業名)	ひょうご安心・推奨ブランドの認証手続きの負担軽減 (ひょうご食品認証事業)				部(局)	農林水産部	
					所管課	流通戦略課	
					担当班	ブランド戦略班	
					連絡先	078-362-3486	
開始年度	平成16年度	終了年度	—	関連計画等	第5次兵庫県環境基本計画 ひょうご農林水産ビジョン2030		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	県	
事業目的	BSEの国内初確認(H13.9)、牛肉産地偽装事件(H14.1)や鳥インフルエンザ発生(H16.2)等を背景に、食品に対する不安感・不信感が高まり、県産食品が持つ本来のおいしさ等が十分に評価されにくい状況に対応するため、県民に安全・安心で個性・特長のある県産食品を届けることを目的として、ひょうご食品認証制度を創設						
事業概要	(1) 兵庫県認証食品の認証 基準を満たす農畜水産物・加工食品の認証(ひょうご安心ブランド・ひょうご推奨ブランド)(年3回) (2) モニタリング検査 兵庫県認証食品の出荷・小売段階での残留農薬検査等のモニタリング検査の実施(新規・更新時) (3) 有識者会議の開催 認証のための専門的・技術的審査〔年3回×4部門(農・畜・水産・加工)〕、認証基準の検討等						
これまでの改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング検査対象農薬成分の絞込み</li> <li>モニタリング検査経費のコスト削減を図るため、検査対象農薬の絞込みを実施</li> <li>兵庫県認証食品ロゴマークの変更(R2年度)</li> <li>兵庫県認証食品の認知度向上を図るため、ロゴマークのデザインをはばタンに変更</li> </ul>						
業務フロー	<ひょうご食品認証制度> ① 申請(農林水産物・加工食品生産者) → ② 審査(有識者会議) → ③ 認定〔認証期間3年間〕 + ④ モニタリング検査(新規、更新時に実施)						
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額	
	事業費①		9,227千円	9,249千円	7,222千円	7,222千円	
	経費内訳	報酬・賃金	648千円	789千円	1,269千円	910千円	
		委託料	4,206千円	4,410千円	3,730千円	3,800千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	4,373千円	4,050千円	2,223千円	2,512千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(9,227千円)	(9,249千円)	(7,222千円)	(7,222千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		10,135千円	10,259千円	7,222千円	7,222千円	
	執行率((①/②)×100)		91.0%	90.2%	—	—	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.9人	従事人員 0.9人	従事人員 0.9人	従事人員 0.9人	
			8,399千円	8,297千円	8,735千円	8,619千円	
	職員給与費 a	7,271千円	7,188千円	7,607千円	7,510千円		
	賞与引当金繰入額 b	582千円	580千円	582千円	580千円		
	退職手当引当金繰入額 c	546千円	529千円	546千円	529千円		
総コスト(①+③)		17,626千円	17,546千円	15,957千円	15,841千円		

レビューシート

評価	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度目標	最終目標【年度】
	価値	成果指標(アウトカム指標①) 兵庫県認証食品流通割合(%) (生鮮農畜産物) 〔第5次兵庫県環境基本計画〕	目標	39.0%	40.0%	41.0%	42.0%
実績(見込)			39.5%	40.0%	40.7%	42.0%	【R7年度】
(単位当たりコスト)			(44,623千円)	(43,865千円)	(39,206千円)	(37,717千円)	
達成率(見込)			101.3%	100.0%	(99.3%)	(100.0%)	
指標	活動指標(アウトプット指標①) 兵庫県認証食品数(品目) 〔ひょうご農林水産ビジョン2030〕	目標	—	—	2,220	2,240	2,400
		実績(見込)	2,172	2,246	2,315	(2,240)	【R12年度】
		(単位当たりコスト)	(8千円)	(8千円)	(7千円)	(7千円)	
		達成率(見込)	—	—	(104.3%)	(100.0%)	
目標	終期設定	有( )・(無)					
	改善基準	—					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>指標・目標設定は適切か</li> <li>活動実績は十分か</li> <li>想定された成果を達成しているか など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県認証食品数、兵庫県認証食品流通割合とも着実に増加し、県民の認証食品の認知度も高まっている〔県民モニターアンケート(認証食品認知度)〕</li> <li>H28:41.5% → R3:50.3%[+8.8%]</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県認証食品数は順調に増加している</li> <li>食品数増加に伴う認証事務・モニタリング検査数が増大しているため、国の食品偽造防止に関する体制強化や生産者の法令遵守意識の高まり等を踏まえ、生産者・行政双方の事務負担軽減や効率的な執行に向けた改善が必要である</li> </ul>			
価値	<p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務改革に取り組んでいるか</li> <li>コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>受益者負担は適正か</li> <li>財源確保の工夫は行っているか など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HACCP取得の加工食品の製造所については、認証基準を満たしている施設として書類審査のみで対応(審査の簡素化)</li> <li>認証事務の担当者研修会を開催し、申請事務・モニタリング検査等の円滑な実施に努めている</li> </ul>					
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
価値	説明	認証事務負担軽減に向けた制度の改善(認証期間の延長[3年→5年])や増大するモニタリング検査費用の更なるコスト削減に向けた取組(推奨ブランド更新時の確認方法変更[検査→書面])を検討					
外部委員会意見							
改善結果							